



2021年2月12日

各位

会社名 住友化学株式会社  
 代表者 代表取締役社長 岩田 圭一  
 (コード番号 4005 東証第1部)  
 問合せ先 経理部長 丹 昌敏  
 (TEL 03-5543-5160)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2020年10月30日に公表した2021年3月期の通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### ●業績予想の修正について

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上収益	コア営業利益 (注)	営業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当 たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,215,000	100,000	105,000	30,000	18.35
今回修正予想(B)	2,260,000	135,000	110,000	20,000	12.23
増減額(B-A)	45,000	35,000	5,000	△10,000	
増減率(%)	2.0	35.0	4.8	△33.3	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	2,225,804	132,652	137,517	30,926	18.91

(注)コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を控除しております。

#### 修正の理由

売上収益およびコア営業利益は、石油化学において製品市況が上昇していることに加え、医薬品や情報電子化学においても出荷が堅調に推移していることから、前回発表予想を上回る見込みです。

一方で、コア営業利益に含まれない非経常的な要因により発生する損益として、医薬品であるナパブカシンの結腸直腸がんを対象としたフェーズ3試験の解析結果において主要評価項目を達成しなかったことに加え、急性骨髄性白血病などを対象に開発中の alvocidib および固形がんを対象に開発中の TP-0903 の事業性を見直したことにより、減損損失の計上などを見込みます。加えて、第4四半期の為替相場を前回発表予想時の108円/\$から105円/\$へと見直しを行っていることから、円高に伴う為替差損の発生により、親会社の所有者に帰属する当期利益は、前回発表予想を下回る見込みです。

※ 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上

(補足情報)

通期セグメント別業績予想

(単位:百万円)

		2021年3月期 前回発表予想 (A)	2021年3月期 今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)
石油化学	売上収益	525,000	570,000	45,000
	コア営業利益	△33,000	△18,000	15,000
エネルギー・ 機能材料	売上収益	240,000	240,000	—
	コア営業利益	18,000	18,000	—
情報電子学 化	売上収益	430,000	425,000	△5,000
	コア営業利益	36,000	40,000	4,000
健康・農業 関連事業	売上収益	430,000	425,000	△5,000
	コア営業利益	31,000	27,000	△4,000
医薬品	売上収益	535,000	545,000	10,000
	コア営業利益	51,000	65,000	14,000
その他 全社費用等	売上収益	55,000	55,000	—
	コア営業利益	△3,000	3,000	6,000
合計	売上収益	2,215,000	2,260,000	45,000
	コア営業利益	100,000	135,000	35,000